



広島記念病院 第2回 公開講座

日時：平成25年6月4日（火）13：30～14：30

テーマ：「ヘリコバクター・ピロリ菌 感染性胃腸炎」

講師：広島記念病院 診療部長 隅井雅晴

第2回公開講座では、「ヘリコバクター・ピロリ菌 感染性胃腸炎」について、当院 内科 隅井雅晴 診療部長より“正しく理解して、胃癌検診を受けることの大切さ”についての講演が行われました。

- * 癌死亡率の中で、胃癌は、男性は、肺癌について第2位
女性は、大腸癌 肺癌 胃癌で第3位
- * よく聞くピロリ菌ってどんなものなのか
- * ピロリ菌と疾病の関係 ～胃癌を中心に～
- * ピロリ菌の検査法と除菌治療の有効性と副作用について
- * ピロリ菌に対する民間療法 LG21乳酸菌などの効果について
- * 今年からピロリ菌感染者全員が保険診療で除菌可能になったことの内



胃癌の素因がある人のうち、除菌治療を行うことで、女性91.9%、男性76.2%、（70歳以上では女性約70%、男性約40%）の確率で胃癌の発生を抑制することができるとの説明がありました。ただし、除菌することで胃癌の発生を抑制することはできるものの、完全に予防することは不可能であり、またピロリ菌に感染して



いなくても胃癌が発生することや、胃内視鏡を受けずに感染診断をする危険性についても説明があり、まずはきちんと胃内視鏡検査をし確認することが大切です。正しい知識で「ヘリコバクター・ピロリ菌」と向き合い、感染源にならない様にきちんと除菌する必要性があり、ヘリコバクター・ピロリ菌胃炎は感染症で、子供たちの為に感染源にならない様にすることが大人の責任の一つと感じました。

当院、内科において、胃内視鏡検査・除菌治療を行っておりますので、是非ご相談下さい。



中央手術室

私たちの手術室はこんなところです！

手術室数：5室

手術室スタッフ数：9名

手術室経験年数1年目（1名）、
2年目（1名）、4年目（2名）、
5年目以上（2名）、10年目以上（2名）、
看護補助者（1名）

年間手術件数（平成24年度）：

外科913件、婦人科236件、眼科112件



勉強会の様子

当院では、積極的に鏡視下手術を取り入れております。鏡視下手術は、低侵襲で術後の回復が早いことから、当院でも年々増加傾向にあります。

当院では年間300例以上、外科手術全体数の3割は鏡視下で行われ、適応疾患も増加しています。2年前よりハイビジョンカメラも導入され、今年度新たに2台購入予定です。ハード面の充実はもちろんですが、定期的な勉強会の開催などソフト面の充実も図り、安全な周術期を提供しています。

鏡視下手術を円滑に行うための適切な術野確保には、手術台を傾斜させる必要があるため、固定方法によっては神経障害を引き起こす危険性があります。看護師が主体となって体位確保を行います。主治医・麻酔科医も必ず一緒に行い、良肢位の保持に努めています。



ラパコレ体位（開脚位）

術中に頭右高位へ
ベッドのローテーションを行います



ローテーション後は、頭や上肢、下肢がずれていないか確認！

体位マニュアル



眼科手術風景

今年度より常勤の眼科医師を迎え、白内障手術、緑内障手術が行えるようになりました。今までは白内障手術のみであったため、緑内障手術の手順書をスタッフで作成しました。現在はまだ10-0ナイロン糸(めっちゃ細いよ~(@_@;))に悪戦苦闘し、新しい微細な器械に振り回されている私達ですが、早く慣れて、局所麻酔下(意識がある状態)で手術を受ける患者さんに寄り添った看護が提供できるよう努力していきたいと思ひます。

昨年度より麻酔科医(非常勤)が1名増員されました。このため、より多く患者様に安心して手術を受けていただけるようになりました。また、緊急手術にも、より迅速な対応が可能となりました。



病棟看護師の手術室実習

また昨年度は主に3~4年目の病棟看護師の手術室実習を行いました。一日中一緒(昼食も一緒)に行動し、外回り業務だけでなく、清潔野に入り、普段病棟業務ではできない体験をしてもらいました。他部署との連携強化のため、今年度も手術室実習を検討中です。詳細が決まり次第お知らせします。

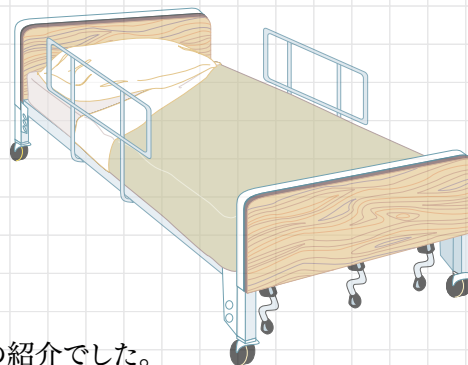


分離肺換気

最後に、今年度の手術室目標を紹介します。

- 1、 安全で安心な周術期看護の提供
- 2、 働きやすい環境づくり
- 3、 看護を語り、考える環境をつくる
- 4、 知識技術の向上を図る

以上、中央手術室の紹介でした。



看護の日

8病棟 看護師 片山 和代



5月12日は、ナイチンゲール誕生の日で看護の日とも呼ばれています。広島記念病院では看護部主催で、看護の日に健康相談等のイベントを行っています。今年は、5月12日が日曜日であったため代わりに14日に実施しました。

当日は、1階フロアで身長・体重、骨密度、体脂肪、血圧の測定や、乳がんの自己検診方法の説明、看護師や相談員による健康・福祉相談、栄養士による栄養相談など行いました。今年度の参加者は60名でした。

特に骨密度や乳がんについての説明は列ができるほど好評で、参加者からはたくさんの質問を頂きました。

昨今は、健康ブームで健康に対する情報があふれています。その中で、やはり自分自身の健康状態を知ることが健康の維持への第一歩へつながると考えられます。今回、多くの方に参加していただいたことは、健康に対する考えが高まっているのだと感じました。来年度以降も、このイベントで来院された方々の健康維持、増進に協力させていただけたら幸いです。



本川小学校 BLS研修会

4病棟 助産師 木戸 優子



平成25年5月30日、本川小学校体育館にて、本川小学校の教職員20名を対象に、救急蘇生法、応急処置の研修会を行いました。今回の研修では、不測の事態発生時、救急隊到着までの間、救急蘇生法を実践できることを目標に、酒井外来主任と看護師が各病棟より1名ずつインストラクターとして参加しました。

研修では、救助者の発見から応援要請、胸骨圧迫、AEDの実施など、BLSのアルゴリズムに沿って講義を行ったあとに実技という流れで行いました。グルー

プ分けは学年毎に、3～4名の少人数であったことから、先生方ひとり一人が積極的に参加されていました。また、プールの開始に際し、不測の事態に備えるための研修とあって、先生方は積極的に質問をされており、とても熱心に参加されていました。先生方からも「少人数でわかりやすかった」、

校長先生からは「例年より楽しそうに実施されていた」との声を頂きました。

実際に小学校で救急蘇生を行うことがないことが望ましいのですが、万が一そのような状況に遭遇したときには少しでも今日の研修が活かされることを願っています。そして、このような地域の小学校と関わることで、病院として地域に貢献できる場を頂いたことに感謝いたします。



すくすくサークル 七夕会



4病棟 助産師 山口 今日子

平成25年7月3日、7ヶ月から1歳の赤ちゃんを対象とした七夕会を行いました。6組のお母さんと赤ちゃんに大雨と雷の中、お集まり頂き、びしょびしょに濡れている赤ちゃん・お母さんがいなくて幸いです。

6ヶ月のすくすくサークル以降、おねえちゃん・おにいちゃんに成長している皆の姿を見ることが出来て、とても嬉しかったです。座っている姿やずり這いしている姿、なんとも言えない可愛さでした。音楽に合わせた手遊びや赤ちゃんと一緒にやる体操では親子二人とも笑顔になり、楽しい時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。

梅雨の季節が終わり本格的な夏に入ります。体調には注意してください。皆様の織姫様と彦星様がすくすくと成長しますように。お星様に願いをこめて☆

本川小学校 手洗い講習会



感染管理認定看護師 中野 隼 6病棟 看護師 平田 恭兵

平成25年6月11日、地域保健活動の一環として本川小学校にて手洗い講習を実施しました。今回は1年生の2クラス(35名+5名)を担当し、当院からは、山口今日子(4病棟)・本田綾乃(5病棟)・平田恭兵(6病棟)・角川舞(7病棟)・内田奈緒子(8病棟)・中野隼(感染管理認定看護師)の6名が参加しました。

今回も手洗い指導の必要性を理解してもらうため寸劇を行いました。1年生の児童ということもあり興味をもち、劇中は真剣な眼差しで静かに見てくれました。劇の合間に教室にある大きなテレビにパワーポイントのスライドを流し、手の汚れ易い色分けした部位を事前に確認してもらいました。劇の合間に取り入れることで最後まで集中して聞いてもらうことができました。寸劇は一方的に劇を見せるのではなく、特に覚えておいて欲しい所では、児童に向かって話しかけることで、更に興味を持ってもらえると感じました。

手洗い演習では、手を洗う前に手洗い方法を説明し、劇中に流した汚れ易い部位を思い出してもらいながら指導しました。手洗いチェッカーで汚れを確認してもらおうと実際にスライドで流した状態に光り、児童は自分の手がどのくらい汚れているのか実感している様子が見受けられました。

その後、一生懸命に水道に設置してある固形石鹸で手を洗ってくれました。予想していた以上に手洗いができており、保育園のときに手洗い指導を受けた児童もいるためではないかと思いました。しかし一部の児童は洗い残しが見られ、1人1人によって汚れが残っている場所が違いました。汚れが残り易い部位を覚えてもらい、再度手洗いをしてもらうとほとんどの児童はきれいにすることができました。



咳エチケットに関しては、マスクがないときに咳が出る場合にはどのように対処すればいいのか質問すると、口を肘で覆う児童が一部おり、手洗い同様に本川保育園での指導の効果がみられました。

咳エチケットではクイズも取り入れ児童が積極的に参加してくれました。一方的に指導するのではなく自分で考え、意識を持たせることが必要だと感じました。

本川保育園で講習を行っているためか一部の児童はすでに手洗い、咳エチケット、マスクの着用について正しく理解できており驚きました。これまでの活動の成果、継続した活動の大切さを感じることができました。

今後も地域保健活動として継続して取り組んで行きたいと思います。

地域医療従事者研修会 4月

日 時：平成25年4月25日（木）19：00～20：00

テーマ：「広島記念病院におけるピロリ菌除菌治療」

～これまでの成績と今後の動向～

講 師：広島記念病院 内視鏡室医長 田村 忠正

4月の地域医療従事者研修会は「広島記念病院におけるピロリ菌除菌治療と成績、今後の動向」について、当院 内科 田村 忠正 内視鏡室医長の講演を開催しました。

内容については、特に保険診療による除菌治療についての適応や、除菌前の感染診断、除菌療法の薬剤、除菌判定等について詳しく説明がありました。講演終了後には、処方方法や一次除菌で失敗した場合についてなど活発な意見交換がみられ、皆さんの関心の高さが伺えました。

当院の治療方針としては、患者さんに説明する際にはデータを表示し、対象者には除菌療法が出来ることを伝え、副作用など十分説明し年齢に関係なくご本人の希望に沿って治療することを原則としております。何かご不明な点がありましたら、当院内科へご相談下さい。



地域医療従事者研修会 5月

日 時：平成25年5月30日（木）19：00～20：00

テーマ：『当院における腹腔鏡下大腸癌手術の治療成績』

～根治性・低侵襲性・安全性の向上を目指して～

講 師：広島記念病院 診療部長 宮本 勝也

5月の地域医療従事者研修会では、診療部長に就任した宮本勝也 医師が、「当院における腹腔鏡下大腸癌手術の治療成績」について講演を行いました。

具体的な内容は

- * 当院における大腸癌の全手術件数の40%は腹腔鏡手術である。
- * 5年生存率の比較では、2010年大腸癌治療ガイドライン発表と当院のどのStageにおいても当院の成績がよい。
- * 術後合併症で一番多かった創感染は、創部保護 創洗浄の徹底 閉鎖式ドレーン採用 ドレーンの早期抜去の取り組みで14.9%から4.6%と劇的に減少した。

- * 近年2年間の開腹と腹腔鏡下の比較では、術後の疼痛緩和・消化管運動機能の回復において開腹手術より腹腔鏡下が優れていた。その結果、平均在院日数は、29.3日から14.2日と短縮され、患者さまの負担が軽減した結果になっている。
- * 新たな腹腔鏡下大腸癌手術の適応や内肛門括約筋切除併用腹腔鏡手術の報告 等

腹腔鏡手術は、創痛が少ない・手術侵襲が少ない・美容的に優れている・拡大視効果・癒着が少ないなど、開腹手術に比べると患者さまにとって“やさしい手術”です。そしてその低侵襲性と安全性を保ちつつ、やはり根治性が開腹手術と同じであることが大切です。これらのことを踏まえながら、これからも治療にあたりたいと思います。



地域医療従事者研修会 6月

日 時：平成25年6月20日（木） 19：00～20：00

テーマ：「放射線防護」

講 師：長瀬ランダウア株式会社 大阪営業所 所長 飯田 泰二 先生



今回の地域医療従事者研修会は初めて放射線を題材としたテーマとしました。講演を御願ひした講師の飯田泰二さんは長瀬ランダウアという被ばく線量の測定（ルクセルバッジ）の会社の方で大阪から来て頂きました。医療従事者に必要な放射線の基礎知識を福島原発の話題も交えながら分かりやすく解説して頂きました。放射線防護の3原則（線源から離れる！使用と作業の時間を短く！防護衣を着る！）は特に重要です。また、ルクセルバッジの構造と正しい使用の仕方、注意点なども解説して頂きました。間違った使用をすると正しい

被ばく線量の管理ができません。放射線を扱う管理区域内で作業する際は、個人の線量測定が法律で義務づけられています。（実効線量限度は100mSv/5年かつ50mSv/年）

医療従事者として働く上でどのようにして身を守るのか。また、どれだけ被ばくしたら体に影響がでるのか。正しい知識をもって放射線に従事する事が大切なことが良く分かる研修会でした。

地域医療従事者研修会 7月

日 時：平成25年7月11日（木）19：00～20：00

テーマ：『がん治療における栄養管理』

～質の高い治療にするために～

講 師：広島記念病院 中央手術室室長 坂下 吉弘



「がん治療における栄養管理」について、外科の坂下吉弘医師が講演されました。

がんになると痩せてしまうのは仕方ない、がん患者に栄養を投与すると、がんが大きくなるといった認識が過去にはあり、がん治療に栄養管理が必要であることが重要視されるようになったのは比較的最近のことなのではないかと思われます。今回の講演では、がんと診断されてから手術するまでの間、周術期、化学療法中、ターミナル期、それぞれの時期に求められる栄養管理について広く学ぶことができました。また、新しい

話題としては胃から主に分泌される「グレリン」、炎症を抑える作用があるといわれる「EPA」についても紹介しました。

特に、化学療法時の支持療法としてのエレンタール投与については、非常に興味深い結果が示されていました。エレンタールを補助的に摂取することによって化学療法時の有害事象のひとつである口内炎の軽減効果が期待でき、栄養状態を保つことで化学療法を長く続けていける可能性が示唆されたのです。これは生存期間にも影響を及ぼすことが考えられ、栄養管理の重要性について再認識させられる結果であると思われます。

当院では、がんと闘う多くの患者様がいらっしゃいます。適切な栄養管理をすることで、良い時間をより長く過ごしていただくことが可能となるかもしれません。患者様の幸せのために何ができるかを考える時、今回のような研修に参加して得た知識は選択肢の幅を広げてくれます。「質の高い治療」に少しでも貢献できるよう、さらに深めていきたいと感じる、有意義な研修でした。

7月4日地域医療従事者研修会

日 時：平成25年7月4日（木）19：00～20：15

テーマ：『一般医に知っておいてほしい婦人科的知識』

～下腹部・腹部膨満を呈する疾患

家族性疾患・HPVワクチン・妊婦に行っている検査について～

講 師：広島記念病院 産婦人科医長 横田 康平

今回は、過去の研修会のアンケートにおいてご要望いただいていたテーマから「一般医に知っておいてほしい婦人科的知識」と題して研修会を企画しました。

- < 内容 > 1) 女性の下腹部痛 2) 女性の下腹部膨満 3) 婦人科に関連した家族性腫瘍
4) 子宮頸がん予防ワクチン 5) 妊婦健康診査

産婦人科以外の診察室では、妊娠の確認をしても、否定される女性がいることも現実にあります。女性の下腹部痛をみたら妊娠と思え レントゲン検査、CT検査は月経開始から10日目までに・・・から講演は始まりました。その後、実際のたくさんの症例から疾患を説明され、「痛くも何ともなかったので受診しませんでした」「太ったと思っていました」と言われる患者さんの言葉は、女性なら心あたりがある方も多いと思います。大きくなると手術時の合併症（出血多量、腸管穿孔など）が増加して、手術適応がなくなるので早期に発見する必要があり、その為、婦人科以外の診療科でも早期発見が大切になります。

婦人科腫瘍の早期発見のために、クリニックを受診された際には、臍から下も診察をし、可能なら超音波検査することが必要になります。まずは、症状がなくても、年に1回は婦人科受診をすることが大事になります。

また、子宮頸がん予防ワクチンのHPVワクチン投与の実際や妊娠・授乳期の注意事項から妊婦健診まで、女性の病気と予防について幅広いお話でした。下腹部のエコー画像診断についての質問など活発に質問があり、一般診察に役立つ婦人科疾患の講義でした。



介護老人保健施設 記念寿 地域交流会

支援相談員 荒井 恵

平成25年6月12日(水)13時30分から広島記念病院3階講義室にて地域交流会を開催しました。昨年より、地域の皆様にも記念寿の事を知って頂くために、地域交流会を開催しておりこの度で3回目となりました。

この度は、『介護保険を利用するには・・・』というテーマでの開催でした。

介護保険制度は平成12年4月1日にスタートした制度で、丁度、同時期に当施設の介護老人保健施設記念寿も開設され、双方ともスタートをきって13年目を迎えております。

本格的な高齢社会を迎えているわが国では、介護が必要な高齢者が急増しているとともに、核家族化や介護する人も高齢化し様々な障害・諸事情を負っている状況で、介護が必要な高齢者を家族だけで介護する事が困難になってきております。また、医療・福祉の窓口の一元化および医療費削減も介護保険創設の所以とも言われています。介護保険は、こうした「介護」にかかわる諸問題を家族だけでなく、社会全体で支えていくために生まれた制度なのです。

そのなかで、介護保険制度の中で展開されるサービスの一部を提供している記念寿は、多くの利用者にご利用いただいております。施設入所サービス及び、一般的に称される表現でいうとショートステイ・デイケアのサービスを提供しております。自宅および地域での生活が再びできるように、そしてその生活が出来るだけ長く、極力希望した形で継続できるように支援しております。記念寿を繰り返し利用される事で、ご本人・家族にとって馴染みの施設となり、『第2の故郷・家』としてとらえていただき、そして私たち記念寿の存在がご本人・家族の生活の一部となり、安心して生活が出来るように、福祉のプロとして職員一同、おもてなしの心で日々お手伝いさせて頂いております。今後も地域に根ざした施設を目指して邁進していきたいと思っております。

何かお困りの事があれば、いつでもご連絡ください。

地域交流会では、介護保険制度及びこれらの事をまとめ説明させていただき、そのあと、記念寿の見学・体験ツアーを行いました。次回の開催も、是非、皆様ご参加いただければ嬉しく思います。



外科・整形外科 原田病院

院長 原田 義弘 先生
副院長 原田 仁 先生



1) 開業されたのはいつですか。

昭和21年10月に、父 東 岷が戦後まだ瓦礫のたくさんあったこの地に、病院を建てて開業しました。その後、いところが院長を継ぎ、平成元年に私が3代目の院長になりました。

2) 貴院の診療内容について教えてください。

外科・整形外科疾患が中心で、内科的疾患も合わせて診療しています。専門的治療が必要な場合は地

区の病院と連携をとって紹介しています。かかりつけの患者さんから要請があった場合には往診もしています。入院は医療・介護療養病棟合わせて77床あり、他病院からの紹介患者さんが約半数です。また、今年4月から、整形外科の息子が副院長として一緒に診療をするようになり、手術件数も増え主に大腿骨頸部骨折や腕の骨折など、少人数で出来る手術を行っております。腰椎圧迫骨折の患者さんの安静リハビリ入院などにも対応しています。

3) モットーはございますか。

父の頃から「来てよかったと患者さんに感謝される病院作り」をモットーにしています。外来で出来る限りの高いレベルでの診断・治療をしたいと考えています。

4) レクリエーションを続けておられると伺いました。

毎週水曜日に40分程度ですが、主に入院患者やその家族を対象に音楽療法をしています。ボランティアの人に手伝ってもらいながら、童謡・唱歌・流行歌などをピアノ伴奏しながらみんなで歌っています。15年欠かさず続けています。

5) 先生にとって広島記念病院はどのような存在ですか。

30年前まだ「連携」という言葉がなかった頃から、面倒見のいい病院でした。今後も今までどおり、連携をとって行きたいですね。紹介されるばかりの一方通行の連携ではなくギブ&テイクのような連携ができればと思います。



原田病院
〒730-0804
広島市中区広瀬町1-8
Tel:082-232-3351

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	備考
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	-	休診日：日・祝
13:30~18:00	○	○	○	○	○	○	-	

くまもと内科胃腸科

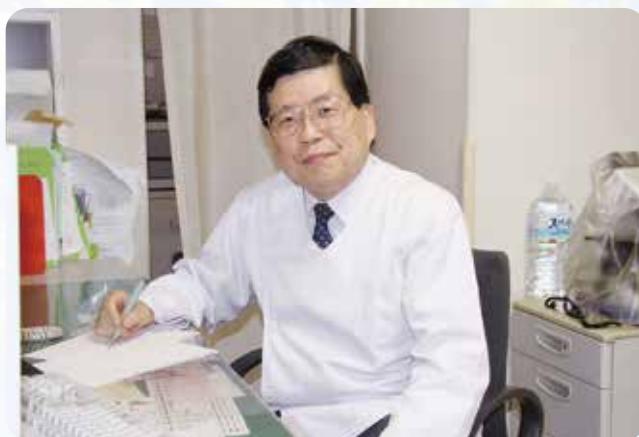
院長 熊本 隆 先生

1) 開業されたのはいつですか。

平成15年の4月に開業しました。

2) どのような患者さんが多く受診されますか。

医療機関名に“内科・胃腸科”がついているので、内視鏡検査の患者さんが多いですね。午前中は内視鏡検査と診察を行い、午後は主に内視鏡検査を行っています。周囲にオフィスも多いので、仕事の合間に受診される方もおられます。



3) 日々の診療で心がけておられる事はございますか。

言葉にするのは難しいですが、結果が大切だと思っています。

早く正しい診断をつけて、速やかに治療に結びつけることを心がけています。特に内科医は、診断をしたうえでそれぞれの専門医に振り分けをする役割があると思っていますので、そのためにも病診連携・診診連携は欠かせません。



4) 診療にお忙しい毎日ですが、ご趣味はございますか。

以前は、市民球場が近くにあったのでたまに足を運んでいましたが、移転してからは行ってないですね。今の趣味といえば音楽鑑賞です。

5) 先生にとって広島記念病院はどのような存在ですか。

診断がついて内視鏡治療目的の方を紹介することが多いですが、各科にベテランの優秀な先生が多くて

充実していますし、炎症性腸疾患のレベルも高いですね。また、診療科同士の連携もいいと思います。診察予約も取りやすいと感じていますし、急患・入院も迅速に対応していただいていますので、大変感謝しています。

くまもと内科胃腸科

〒730-0051
広島市中区大手町1丁目5-2
Tel:082-544-0606

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	備考
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	-	休診日：日・祝
16:30~18:30	○	○	○	-	○	休診	-	午後の診療は検査終了後

広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730
 FAX 082 (503) 1010
 代表 広島記念病院
 TEL 082 (292) 1271
 FAX 082 (292) 8175
 庶務課
 TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722
 産婦人科・小児科
 FAX 082 (503) 0723
 耳鼻科・皮膚科・泌尿器科
 FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8200
 FAX 082 (294) 8420
 合庁(合同庁舎診療所)
 TEL 082 (221) 9411
 FAX 082 (223) 6204
 歯科診療所
 FAX 082 (294) 8420

外来診療担当表

平成 25 年 8 月 1 日現在

※産婦人科の担当医が、平成25年8月15日から下記のとおり変更いたします。
 また、平成25年9月1日からは、金曜日 二診の吉本医師に代わり本田医師が診察する予定です。赤字が変更箇所です。

診療科	受付時間	区分	月	火	水	木	金	土
内科	8:30~11:00	一診	隅井	山田	隅井	隅井	津賀	当番医
		二診	江口	田村	津賀	江口	田村	
		三診	炭田	児玉	炭田	児玉	山本	
		四診				山田		
総合診療科 (4/2~1階)	8:30~11:00		横崎		串畑		休診	
外科	8:30~11:00	一診	藤本	中井	藤本	宮本	中井	当番医
		二診	宮本	横山	坂下	横山	坂下	
	13:00~14:30	手術	手術	手術	手術	手術		
産婦人科	8:30~11:00	一診	本田	横田	横田	横田	横田	休診
		二診	吉本	吉本	本田	吉本	吉本	
小児科	8:30~11:00	一診	岸	岸	岸	岸	岸	
		二診	藤井	藤井		岸	廣大医師	
	13:00~14:30	一診	藤井	藤井		岸	廣大医師	
	14:00~16:00	成長障害・夜尿症		西				
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一診	長田		長田		立川、又は杉本	
		二診						
皮膚科	8:30~11:00		河合				森桶	
泌尿器科	8:30~11:00			井上			宮本	
眼科	8:30~11:00	一診	金本	金本	金本	金本	三浦	
		二診		藤東		藤東		
広島記念診療所 歯科	8:30~11:00	午後(予約のみ)	手術	検査	手術	検査		
		13:00~16:00	山田	山田	山田	山田	山田	電話番号 294-7858

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。
 歯科を除く各科とも再診は7:30から受付ています。

■部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
 本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
 広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72 台、平面駐車場 10 台
 身障者専用駐車場 3 台
 詳細は病院ホームページをご覧ください